



2023年5月8日

各位

株式会社ウィザス  
代表取締役社長 生駒富男  
(コード番号 9696)

[問い合わせ先]

取締役 統括支援本部長 赤川琢志  
TEL 06 (6264) 4202

### 特別損失（減損損失）の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月期連結決算において特別損失を計上することになりました。また、これに伴い、2022年5月13日に公表しました2023年3月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社が保有する固定資産のうち、主に学習塾事業の固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、2023年3月期連結会計年度において固定資産の減損損失を特別損失として828百万円計上する見込みとなりました。

#### 2. 通期の連結業績予想の修正について

##### (1) 修正の内容

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,800	2,200	2,300	1,300	140.29
今回修正予想 (B)	19,856	2,122	2,155	589	64.24
増減額 (B-A)	56	△78	△145	△711	—
増減率 (%)	0.3	△3.5	△6.3	△54.7	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	17,635	2,127	2,245	1,284	135.74

## (2) 修正の理由

売上高につきましては、高校・キャリア支援事業の通信制高校が堅調に推移し、過去最高となる見込みです。一方で、利益面においては、通信制高校の対面行事再開による費用の増加、及び学習塾事業の収益構造の変化が影響しております。事業環境及び業績動向を踏まえ、学習塾事業における対策の一環として、第4四半期で校舎の統廃合等を21校実施いたしました。加えて、「1. 特別損失（減損損失）の計上について」に記載のとおり、潜在的なリスクを先送りせず、将来の事業計画を保守的かつ慎重に検討の上、減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益については前回発表予想を大幅に下回る見通しとなりました。なお、期末配当予想については変更いたしません。

（注）本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは異なる場合があります。

以 上